



💡 開業医の先生・医療事務スタッフ様向け

神戸掖済会病院からのパートナーシップ提案

電子的診療情報評価料 (TONARI活用) 完全ガイド

神戸掖済会病院 • 地域医療連携サービス
NOBORI TONARI

TONARIを活用し、診療の質向上と「電子的診療情報評価料（30点）」の算定を実現してください。

【結論】 当院のクラウド連携をご活用ください。



医療の質の向上

- ✓ 当院のCT・MRI画像や読影レポートをオンラインで即時確認。
- ✓ 重複検査を防ぎ、患者さんの負担を大幅に軽減。






経営上のメリット

30点




- 電子的診療情報評価料：30点を算定可能。
- さらに「電子的診療情報連携体制整備加算1（15点）」取得への足掛かりに。

従来のCD-ROMや紙のやり取りを廃止し、**完全WEB対応のクラウドで即時共有**します。

従来の連携（ペイン）

-  CD/DVDの作成・発送に時間がかかる
-  郵送によるタイムラグと紛失リスク
-  院内の専用端末でしか見られない

TONARIでの連携（ソリューション）

-  **即時参照:** 検査完了・読影完了直後からオンラインで確認可能。
-  **完全WEB対応:** 専用環境不要。iPadでも閲覧可能。
-  **コストゼロ:** 参加施設（地域の先生方）はシステム費用ゼロ（ネット環境とPCのみ）。

医療情報を扱うための**高度なセキュリティ**を備え、**安全な情報共有**を約束します。



暗号化と認証

- すべての通信を**SSL(2048bit)**で暗号化。
- ID・パスワードに加え、**なりすまし防止**の端末認証を実施。



データセンター

- 情報セキュリティ認証**(ISO27001)**取得のデータセンター。
- 画像・レポートは**4重**、予約データは**2重**で分散保管。



常時監視と対策

- **24時間365日**のシステム監視体制。
- 添付ファイルの**ウイルスチェック**と、すべての操作ログを**一定期間**保存。

当院から提供するデジタルデータを診療に活用した場合に、貴院で算定できる評価項目です。

制度名：電子的診療情報評価料（30点）



神戸掖済会病院



クラウド TONARI



貴院

対象となる主な情報：



CT・MRI等の画像情報



放射線科医の画像診断所見（読影レポート）



検体検査結果



投薬・注射内容、退院時要約 など

⚠️ 単に紹介状を受け取るだけでなく、上記データをTONARIで閲覧し、「実際の診療に活用すること」が評価のポイントです。

事前準備から算定までのプロセスは、大きく5つのステップで完了します。

1

Step 1:
事前準備 📝

施設基準の届
出

2

Step 2:
患者来院 🏥

紹介状の受領

3

Step 3:
情報閲覧 💻

TONARIでの
データ確認

4

Step 4:
カルテ記載
⚠️ **最重要**

評価の要点を
記録（ここが
必須要件！）


5

Step 5:
算定 💰

会計時に30点
を算定

まずは施設基準の届出を行い、当院からの紹介状（診療情報提供書）を確認してください。


1 Step 1: 事前準備（施設基準の届出）



 地方厚生局へ「電子的診療情報評価料」の施設基準届出が必要です。



「電子的診療情報連携体制整備加算1」の算定必須要件（または検査・画像情報提供加算との選択）にもなっています。

2 Step 2: 患者の来院と紹介状の受領

 当院（神戸掖済会病院）からの「診療情報提供書」を持参した患者さんを受け入れます。

  封書等の記載から「TONARIに詳細データあり」を確認します。



診察前または診察中に、お手元の端末からTONARIへログインし画像や結果を確認します。



直感的なDICOM Viewerを搭載



簡易DICOM Viewerで、高精細な画像をスムーズに参照。



画像と同時に読影レポートや血液検査結果を確認。



必要に応じて、データを貴院の端末へダウンロード可能。



医師が直接データを閲覧し、現在の診療方針の決定に活用（評価）します。

算定において最も重要なのは、閲覧・評価した内容のカルテへの記録です。

! **ここがポイント!** 単に「見た」だけでは算定できません。その情報が「現在の診療にどう活かされたか（評価の要点）」の記録が必須です。

【電子カルテへの模範的な記載例】

「掖済会病院の紹介状受領。TONARIにて○月○日実施のMRI画像および読影レポートを閲覧・評価。右膝半月板損傷の所見を確認し、本日の診療方針を決定した。」

↑ 「何を閲覧し」「どう判断したか」を具体的に記載してください。

要件を満たせば紹介受診時に算定可能です。ただし算定不可のケースにご注意ください。

✓ 算定のタイミング

当院からの紹介により受診したタイミングで、会計時に「電子的診療情報評価料（30点）」を算定。

⚠ 要注意！算定できないNGパターン

- ✗ 後出しの照会（依頼に基づく提供）
貴院から「データを送ってほしい」と依頼して提供を受けた場合は対象外です。
あくまで「紹介を受けた際」の評価となります。
- ✗ カルテ記載漏れ
Step 4で示した「評価の要点」が記録されていない場合。

情報のデジタル化は、地域医療連携の質（Value）を高める強力なツールです。

「情報の二重投資」を回避



「情報の二重投資」を回避

重複検査を防ぎ、患者さんの費用・身体的負担を大きく軽減。

上位加算への足掛かり



上位加算への足掛かり

月1回算定の「電子的診療情報連携体制整備加算1（15点）」の取得条件をクリア。

診療の質の可視化



診療の質の可視化

デジタルデータを駆使した「質の高い共同管理」を行っている証となり、患者満足度と信頼感が向上。

患者さんのスムーズな受け入れのため、まずは以下の3点をご確認ください。

Next Action (今日から始めるToDo)



ToDo 1: 貴院の「電子的診療情報評価料」の施設基準届出状況を確認する。



ToDo 2: 当院からの紹介状を受け取ったら「TONARI」へのログインとデータ確認を習慣化する。



ToDo 3: 院内の電子カルテに、「評価の要点」を記載するためのテンプレート(定型文)を登録する。

TONARIの導入・操作や、施設基準の届出に関する ご相談を全面的にサポートします。



ご不明な点は当院がバックアップします

【窓口】神戸掖済会病院 地域医療連携室

☎ TEL: 078-781-1411 (直通)

- ✓ TONARIの利用方法・閲覧方法
- ✓ 施設基準の届出に関するご質問
- ✓ 患者さんの紹介・逆紹介、受診調整

※実際の算定可否は最新の告示・通知等をご自身でご確認ください。